

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
	6,132,165,496		3,907,467,631
現金	2,140,643	工事未払金	1,417,648,751
当座預金	468,678,828	短期借入金	0
普通預金	855,984,795	設備未払金	0
定期預金	0	未払金	121,582,850
定期積金	0	未払消費税	95,738,096
完成工事未収入金	153,069,147	未払法人税等	79,486,500
販売用土地	583,765,176	未払費用	81,289,644
販売用建物	408,295,266	未成工事受入金	1,291,949,304
未成工事支出金	134,394,792	販売用不動産受入金	3,100,000
原材料及び貯蔵品	2,166,275	前受金	188,767
前払金	6,388,521	預り金	565,546,181
前払費用	16,885	工事損失引当金	25,000,000
預け金	0	完成工事補償引当金	14,937,538
関係会社預け金(普通)	2,466,363,009	賞与引当金	211,000,000
関係会社預け金(定期)	1,000,000,000	役員賞与引当金	0
未収入金	37,997,058	(固定負債)	916,315,997
立替金	13,745,882	長期リース未払金	0
繰延税金資産	0	退職給付引当金	355,645,845
四半期末収税金	0	長期預り金	310,379,060
貸倒引当金	△ 840,781	工事保証金	186,301,968
		長期未払金	4,640,000
		長期資産除去債務	59,349,124
(固定資産)	2,281,408,915		
有形固定資産	1,981,882,124	負債合計	4,823,783,628
建物	1,782,225,815	純資産の部	
展示場	580,356,959	株主資本	3,589,790,783
構築物	188,520,741	資本金	34,000,000
機械装置	3,522,000	資本剰余金	6,000,000
車両運搬具	18,782,202	資本準備金	6,000,000
工具器具備品	145,722,932	その他資本剰余金	0
土地	946,147,833		
リース資産	189,874,400	利益剰余金	3,838,758,783
建設仮勘定	13,739,410	利益準備金	8,500,000
減価償却累計額	△ 1,887,010,168	別途積立金	3,973,200,000
		繰越利益剰余金	△ 142,941,217
無形固定資産	2,536,857		
電話加入権	236	自己株式	△ 288,968,000
ソフトウェア	2,536,621		
投資その他の資産	296,989,934	評価・換算差額等	0
投資有価証券	10,000,000	その他有価証券評価差額金	0
長期貸付金	34,855,907		
長期債権	0	純資産合計	3,589,790,783
長期前払費用	7,144,906	負債・純資産合計	8,413,574,411
前払年金費用	97,136,149		
長期預け金	38,080,007		
その他の投資等	1,063,617		
長期繰延税金資産	143,774,390		
貸倒引当金	△ 35,065,042		
資産合計	8,413,574,411		

## 個別注記表

### 重要な会計方針

#### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)。

#### 2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産(リース資産除く)……定額法

(2)無形固定資産(リース資産除く)……定額法

(3)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### 3. 引当金の計上基準

貸倒引当金…売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については法人税法規程による限度額相当額(法定繰入率)のほか、貸倒懸念等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金…従業員賞与に充てるため、翌事業年度支給見込額のうち当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

完成工事補償引当金…引渡後の建築物の瑕疵担保責任に基づく補償費の支出に備えるため、保証責任が伴う完成工事高、不動産事業売上高の建物部分売上高に過去の実績率を乗じた額と特定の物件について補償費用の個別見積額を計上しております。

退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。  
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、原則法に基づいて計上しております。

工事損失引当金…受注工事に係る将来損失に備えるため、損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積もることができる工事について損失見込額を計上しております。

#### 4. 収益及び費用の計上の方法

完成工事高及び完成工事原価

工期のごく短いもの等については工事完成基準を適用し、その他の工事では当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を適用しております。

### 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	1,887,010,168円
2. つなぎローン保証残高	611,510,000円